

平成 30 年 6 月 5 日

多治見高校トピックス

～多治魂セミナーNo.1 藤岡春菜さん～

今年度から多治見高校では、生徒の皆さんに学ぶ面白さを体感してもらうために、大学などの研究機関や企業で夢をもって活躍されている方を招いて講演会をしていただく、^{たじこん}多治魂セミナーを行います。このセミナーは、多治見高校生以外にも近隣の学校からも参加でき、また、質疑応答の時間を長めに取って、講演者と生徒の皆さんが対話・議論する時間がたっぷりある点が特徴です。

さて、第一回の多治魂セミナーは平成 30 年 6 月 5 日に開催し、藤岡春菜さん（東京大学大学院総合文化研究科博士課程兼日本学術振興会特別研究員）にお越しいただきました。藤岡さんには、理系女子大学生生活と、アリは本当に働き者なのか？という2つのお話しをしていただきました。

アリの話では藤岡さんが現在進行形で研究している内容をお話していただきました。初めに、「トゲオオハリアリの普通の働きアリは1日の中で活発な時間帯とそうでない時間帯がある一方で、子育てを担当する働きアリは24時間働きっぱなしである」というお話を聞きました。次に、「巣の入り口を自らの頭で塞ぐヒラズオオアリの働きアリは、複数の個体で交代しながら巣の入り口を塞ぐ」こともお話ししていただきました。さらに、「働きアリの中には働かない個体がいる」ことも教えていただきました。



質疑応答の時間



藤岡さん（手前真ん中）と受講生

セミナーには、本校の生徒約 40 名が参加し、講演後には1時間にわたって質問が続けるほどの大盛況でした！！たくさん質問ができる多治見高生に潜在能力の高さを感じました！藤岡さんありがとうございました！

担当：自然科学コース主任 佐賀達矢

＜藤岡さんからの高校生へメッセージ＞

1. いろいろな人に直接会って話を聞こう
2. 質問することは大切
3. 言われていること、書かれていることがすべて正しいとは限らない
4. 根拠のない自信をもち、周りの人にどう思われているのか気にしない鈍感力も大事
(人を傷つけるようなことはダメです)

＜生徒の感想＞

○今回の講演を通して、まず、働きアリの生活とヒトの生活に似ているところがあることに気づきました。社会性昆虫という言葉自体が初耳だったけれど、とても分かりやすく解説してくださり、働きアリの中にも、門番や餌を取りに行く係、幼虫のお世話係等があることを、具体的に知ることができて良かったです。また、大学の話では、いろいろな人に会って話して、考えや経験を作ることや、物事を疑う視点が少し必要ということが聞け、私自身にとってとてもためになりました。今回の講演会という経験も他の人の考えを知る機会となり、進路について考えを広げることができました。

○私も藤岡さんのように、多くの人に会ったり、いろいろな勉強を通してビビッとくる学問に出会えるように勉強を頑張りたいです。世界の誰もまだ知らないことを、研究によって自分が見つかるのはすごく大変で難しいけれど、すごいことだと思いました。

○私は生き物が好きで、理系に進みました。普段の学校生活では研究の話はほとんど聞けないので、今日の講演会はとてもワクワクしましたし、楽しかったです。また、大学で何を学ぶか選択肢が増えました。ありがとうございました。

○大学の授業の時間割が知られてよかったです。理系の学部では実験がたくさんあって、とてもワクワクしました。ただ、大学の90分授業は大変だなと思いました。高校生のうちから、質問することは大事ということを知れました。これからはもやもやしていてもそのままにするよりは、質問していこうと思いました。

○大学での生活や、高校生活で大事にしたらい事をアドバイスしていただき、自分も頑張ろうと思いました。アリの話では、昆虫にも様々な社会やルールがあったり、役割が明確に分かれていることを知りました。怠けものがいることは知っていたけれど、ただ怠けているのではなく、栄養の貯蔵役をしているのではないかと考えられていることも知り、驚きました。

担当：自然科学コース主任 佐賀達矢